令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 いなべ市社会福祉協議会

◎地域福祉課

地域福祉係

1 地域福祉推進事業

(1) 各種相談事業

心配ごと相談所の開設

相談種類	開所回数	実績
一般相談	11回	6件
弁護士相談	19回	104件
司法書士相談	7回	35件

(2) ボランティアセンター事業

- ・ボランティア相談件数 25件、コーディネート件数 15件
- ・ボランティア登録数 1,760名
- ・ボランティアセンターだよりの発行（7月）
- ・災害ボランティアコーディネーター養成講座 2回講座（延べ5回実施）
延べ参加者数 64名 登録者数 28名
- ・災害ボランティアコーディネーター定例会 5回 延べ参加者数 43名
- ・傾聴講演会 1回 参加者数 45名
- ・いなべふくし塾 2回 延べ参加者数 51名、Instagram ライブ配信 252名
- ・いなべ市ボランティア連絡協議会
加入団体 18団体 加入者 10名（令和4年3月末現在）
定例会 7回 延べ参加者数 75名
- ・食品ロス削減に向けた取り組み 3回（4月、8月、12月）
寄附 1,378キロ 提供 310セット
- ・地域食堂の開催支援（モデル事業）3回 延べ参加者 32世帯

(3) 共同募金事業

令和3年度 募金総額 5,579,633円

令和2年度（令和3年度充当） 配分交付決定額 3,650,504円

配分金事業

老人福祉活動（2事業）

- ・地域におでかけ事業 申請者数 135名 協力店舗 15店舗
- ・あんしん電話事業 登録者数 18名 実施回数 49回

母子・父子福祉活動事業（1事業）

- ・ひとり親家庭支援事業 助成人数 3名

福祉育成援助活動（4事業）

- ・歳末ふれあい事業 配布者数 992名
- ・共同募金啓発事業 社用車へのPRマグネット貼付、市内中学校への説明、独自啓発グッズ（テープのり）の作成と対象者配布
- ・ふるさとづくり公園整備助成事業 申請 8地区

- ・ボランティア活動育成（1事業）
- ・ボランティア団体助成事業 助成団体数 21団体

(4) おむつ給付事業

給付対象者 116名 年間給付件数 1,437件

(5) 緊急通報装置設置事業

業 者	件 数
ALSOKあんしんケアサポート	3件
NTT西日本	3件

(6) 寝具洗濯サービス事業

登録者数 5名 延べ利用件数 9件

(7) 訪問理容サービス事業

登録者数 17名 延べ利用件数 22件

(8) 敬老事業（委託事業）

祝品贈呈 喜寿 380名 米寿 257名 白寿 19名 百歳 16名
最高齢者 2名

(9) 福祉サービス利用審査会

新規サービス申請者の利用決定における審査会 12回開催 審査件数 98件

(10) 日本赤十字社社資増強運動

令和3年度 総額 5,437,500円

(11) 社協会費募集実績総額 5,990,000円

(内訳)

個人会員 10,174世帯

賛助会員（個人） 263名

賛助会員（法人） 119事業所

(12) ふれあい弁当配布事業

登録者数 302名 実施回数 72回 延べ配布件数 4,481件

(13) 外出支援・移送サービス事業

登録者数 30名 延べ利用回数 0回

新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業休止

(14) 福祉用具貸与事業

物 品	延べ貸与件数
車イス	240件
スロープ	18件

(15) ふれあいサロン事業

【ふれあいサロン】 実施回数 141回 延べ参加人数 4,021名

北勢：56回 1,332名 員弁：30回 897名

大安：30回 1,192名 藤原：25回 600名

【ふれあい訪問活動】 実施回数 114回 延べ参加人数 8,745名

北勢：40回 2,344名 員弁：13回 324名

大安：40回 4,612名 藤原：21回 1,465名

(16) ふれあいマップ

ふれあいマップ提出地区 114地区 情報提供 1,003件
関係機関等へのつなぎ 4件

(17) 福祉教育推進事業

福祉体験の実施：ワークショップ6時限、アイマスク体験8時限、
当事者講義（視覚障がい）12時限、当事者講義（聴覚障がい・手
話体験）18時限、車いす体験14時限、点字体験12時限、認知
症サポーター養成講座6時限、SSピンポン6時限、盲導犬2時限、
車いすバスケット2時限、福祉職について2時限

福祉協力校の登録：市内小学校11校、中学校4校、高校1校

(18) 障がい者スポーツ交流会の中止

(19) 生活交流会事業

知的障がい者生活交流会

・レクリエーションスポーツ文化活動 5回 延べ参加者数 40名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため9月は事業中止

精神障がい者生活交流会

・レクリエーションスポーツ文化活動 4回 延べ参加者数 12名

(20) いなべ市生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）（いなべ市委託事業）

いなべ市地域力強化推進事業

1. 5層協議体

開催回数 36回（内訳：北勢町9回、員弁町9回、大安町9回、藤原町9回）

延べ参加者数 453名（内訳：北勢町148名、員弁町87名、大安町119
名、藤原町99名）

福祉委員会

・福祉委員会設置自治会数 65地区（旧モデル地区4地区）

・相談支援中および次年度活動予定自治会数 35地区

相談回数 延べ353回

・福祉委員会代表者交流会（福祉委員長交流会） 52委員会が参加

・生きがい活動促進事業「ひなた」 新規登録者数6名

2 各種団体事務局業務

(1) 民生委員児童委員協議会連合会

	事業内容
いなべ市	役員会、部会・総会（4地区毎）、全員研修（ヤングケアラーについて）、 県民児協主催行事（理事会・代議員会・在宅福祉委員会）への参加、主 任児童委員会（定例会・研修会）、ホームページ運営、もしもの時のS OSカード配布
北勢地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、視察研修
員弁地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、登校時の見守り支 援、視察研修
大安地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、視察研修

	事業内容
藤原地区	定例会、部会、夏季友愛訪問、一人暮らし・高齢者等世帯訪問連絡票作成、高齢者施設交流事業（花植え）、視察研修

(2) いなべ市老人クラブ連合会

事業内容
役員会、支部会、総会、いなべ市老人福祉大会、趣味の作品展、ゴルフ大会、健康づくり講演会、ニュースポーツ体験教室、役員研修会、友愛訪問活動、世代間交流助成事業、パソコン教室、陶芸教室、専門部活動（ゲートボール、囲碁・将棋、ウォーキング、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、カラオケ、社交ダンス、フォークダンス、野球、民謡）

(3) いなべ市身体障がい者福祉会

事業内容
役員会、総会（書面議決）、広報発行1回、障がい者週間PR活動

3 各種サポーター活動支援

(1) サロンサポーター、地域サポーター合同定例会

- ・対象者398名（サロンサポーター218名、地域サポーター159名として活動している方、サロン登録団体者129名：重複者除く）を対象にコロナ禍での活動について情報交換やサロン活動紹介を行った。

(2) 四季の家

- ・定例会 9回
- ・地区別開催 藤原11回（延べ参加者数136名）
員弁 9回（延べ参加者数 98名）
大安11回（延べ参加者数151名）
北勢12回（延べ参加者数130名）

4 第3次地域福祉活動計画の推進、第4次地域福祉活動計画の策定

(1) 地域福祉活動計画策定・推進会議 12回

地域福祉活動計画事務局会議 12回

活動主体者ワークショップ 3回

策定ワーキング会議 5回

第4次いなべ市地域福祉計画および地域福祉活動計画策定委員会 3回

(2) 社会福祉協議会における出前講座の実施

テーマ名	出前回数
足腰を鍛えて、介護予防を目指そう	2回
認知症予防レクリエーション	1回
園芸を取り入れた健康づくり	13回
介護保険の利用について	1回
認知症サポーター養成講座	1回
介護予防・健康・これからの暮らし方について	1回

介護予防事業係

1 一般介護予防事業（いなべ市委託事業）

（1）青空教室

運動コース

登録者数 62名 延べ利用者数 1,195名

園芸コース

登録者数 93名 延べ利用者数 996名

（2）健康づくり（介護予防）セミナー

実施回数 10回 参加者総数 193名

（3）出張型介護予防啓発

実施回数 24回 参加者総数 314名

2 いなべ市介護予防・生活支援サービス事業（いなべ市委託事業）

通所型短期集中予防サービスC

（1）はつらつ教室 2ヶ所（北勢・員弁）

登録者数 64名 延べ利用者数 1,476名

（2）はつらつクラブ後方支援

実施団体 11団体 会員総数 118名 総実施回数 141回

（3）介護予防集いの会

未実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催自粛）

（4）はつらつ教室卒業生の実態把握

電話・訪問等による把握数 134名

3 要援護高齢者実態把握事業（いなべ市委託事業）

おたっしや訪問活動 637名（うち、実態把握数 461名）

新規把握訪問（リスク対象者訪問） 49名

◎地域生活支援課

いなべ市地域包括支援センター（いなべ市委託事業）

1 包括的支援事業

（1）総合相談支援事業

○総合相談

延べ相談件数 3,471件

○民生委員児童委員との連携

民生委員児童委員からの相談および連絡調整件数 187件

民生委員児童委員協議会定例会参加回数 43回（4地域）

○お助け箱の設置

設置数 1,763件

(2) 権利擁護事業

高齢者虐待（身体・心理的虐待等）対応内容（重複有）件数 18件
（うち、虐待と認められた件数 17件）

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジメント支援会議 2回

ケアマネジメント支援研修 2回

主任介護支援専門員勉強会 2回

地域密着介護保険施設等運営推進会議 1回

ケアプラン点検 5回

民生委員児童委員とケアマネジャーの連携勉強会

研修会を避け4地区にアンケートを実施

桑員支部介護支援専門員研修委託回数 6回

市内医療機関等関係機関への訪問 訪問を避け「お電話くださいカード」配布
病院連携会議等の開催・参加回数 22回

医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの意見交換会 1回

地域支援ケース会議 25回

ケアマネジャーの後方支援（相談支援）件数 346件

ケアマネ通信の発信回数 3回

包括通信 5回

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理延べ件数

包括（直接）1,088件 委託 488件

介護予防個別ケア会議 開催件数 タイプA 24回 タイプB 15回

2 任意事業

(1) 高齢者見守りネットワーク事業

通報件数 33件

認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク

協力団体届出件数 332団体

事前登録者数 45名

(2) 認知症カフェ「おれん家`カフェ」

実施11回（包括後援）、総合相談窓口開設回数 2回

(3) 介護予防等普及啓発事業

出前講座 延べ参加者数 311名

広報 社協だよりにて地域における高齢者関連活動紹介の掲載回数 6回

3 いなべ市もの忘れ初期集中支援チーム事業

(1) チーム専門職（チーム医、認知症地域支援推進員、チーム員等）が協働し認知症の早期診断・早期治療に向けた、包括的・集中的な支援を行った。

チーム員会議 10回 うち、支援検討ケース 91件

もの忘れ初期集中支援チーム検討委員会 1回（書面決議）

チーム員対応件数（訪問・来所等） 256件

(2) その他活動状況

認知症疾患センター（東員病院）との連携WEB会議 11回

認知症ケース相談会へアドバイザーとしての参加 3回

4 その他

(1) 『お電話くださいカード』事業

桑員地域の医療機関の協力を得て、『気になるケース』の方へ、カードを配布し、相談窓口案内の紹介を行う。東員町地域包括支援センター共同事業

コロナ感染拡大のため、『お電話くださいカード』を補充目的にて、医療機関へ郵送を行った。

(2) いなべ市地域包括支援センター いなべ総合病院支所（ブランチ）との連携

ブランチとの情報共有により、地域の福祉の向上や円滑な医療連携を図る取り組みを行った。

- ・ブランチ事業運営の支援
- ・総合相談ケースの情報共有・引継ぎ等支援
- ・虐待ケースの協働支援
- ・2カ月に1回の定例会議の開催 等

いなべ日常生活自立支援センター

1 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

利用者（契約者） 51名 延べ相談支援件数 938件

2 生活福祉資金（県社協委託事業）

教育支援資金 0件 コロナ特例貸付 181件

3 小口生活資金貸付 11件

4 法人後見事業

法人後見委員会 年4回実施 受任件数 3件

いなべ市くらしサポートセンター縁（いなべ市委託事業）

1 生活困窮者自立支援事業（いなべ市委託事業）

自立相談支援事業 相談件数 214件 プラン作成総数 24件

就労支援対象者（プラン期間中に一般就労を目標にしている） 14名

家計改善支援事業 5件

就労準備支援事業 3件

住居確保給付金 5件

2 被保護者就労支援事業（いなべ市委託事業）

延べ就労支援件数 84件

3 緊急用食糧品給付事業 4件

4 みえ福祉の「わ」創造事業

生活困窮者支援緊急食糧提供事業 44件

緊急時物品等支援事業 2件

ひきこもり支援センター瑠璃庵（新規事業）（いなべ市委託事業）

おおむね6ヶ月以上社会から孤立している、または、家族以外の第三者と接することがない状態の方たちを対象とした、相談窓口と居場所を兼ねた施設運営を行う事業を令和3年4月から開始。

◎新規利用者数（来所） 本人23名 家族19名

1 相談支援事業

（1）ひきこもり相談

新規対応件数 来所19件 電話10件 合計29件

（2）専門職によるひきこもり相談

実施回数 3回 利用者数 4名

（3）不登校・ひきこもり家族交流会

実施回数 2回 延べ利用者数 12名

2 社会参加支援事業

（1）調理実習（料理教室）

実施回数 7回 延べ利用者数 28名

（2）モーニング事業「るりCafe」

実施回数 3回 延べ利用者数 25名

（3）フラワーアレンジ体験レッスン～お花で寄り添うココロ支援～

実施回数 1回 参加者数 9名

3 アウトリーチによる支援事業

アウトリーチでの面会 136件 ポスティング 51件 合計 延べ187件
（就職氷河期世代142件含む）

4 就職氷河期支援事業

（1）就労体験実習

実施回数 1回 利用者数 1名

新型コロナウイルス感染者相談支援事業（新規事業：相談窓口 地域生活支援課、地域福祉課共同事業）

1 新型コロナウイルス感染症による自宅待機者等への相談・生活支援

相談件数	11件
買い物等代行支援	4件

◎介護保険事業部門

居宅介護支援事業

1 ケアマネジメントの質の向上への取り組み

ケアプラン点検の方法を統一し、全ての職員の課内点検を実施した。また、主に職員個人の質を上げるために自己評価シート等を使用して質の評価を図った。

コロナ禍で多くの研修がオンラインでの開催方法に移行したが、その方法となったことで例年よりも職員が研修に参加しやすくなり、学びの確保ができた。

各ケアマネジャーの会議や訪問に主任ケアマネジャーが同行し、助言や指導等の育成に努め、地域ケア会議や民生委員児童委員との連携の必要性についても促しながら少しずつネットワークの構築ができるようになった。

コロナ禍で病院や施設の面会が制限される中、在宅での看取りが増え、多職種での連携が弱体化しないよう、MCSを大いに活用し、連携強化を図れた。

2 地域包括支援センターからの介護予防プラン作成業務の受託

包括支援センターと連携を常に図り、必要な支援への対応を行った。

介護保険（予防）年間作成件数	231件
契約件数	25件

3 関係機関との連携強化

「1 ケアマネジメントの質の向上への取り組み」を行ったことで、関係機関との連携についても必然的に重要性を学び、強化に繋がった。

4 ケアプラン（居宅サービス計画書）の作成

(1) 特定事業所加算（Ⅰ）（Ⅱ）取得事業所

(2) 介護保険年間請求件数 3,574件

契約件数	338件
ケアマネジャー職員数	13名

5 資質向上のための研修会開催・参加について

(1) 週1回の業務会議開催（毎週水曜定期開催） 47回

(2) いなべ市地域包括支援センター主催研修会等 10回

(3) 三重県介護支援専門員協会桑員支部主催研修（いなべ市委託研修含む） 6回

6 総合相談の受付・福祉サービス調整業務

電話・来所等	91件
--------	-----

7 主任介護支援専門員活動内容（いなべ市および地域包括支援センターからの協力依頼）

- (1) 介護保険ケアプラン点検立会い
- (2) いなべ市居宅介護支援事業所連絡会代表
- (3) 介護予防個別ケア会議の委員として参加
- (4) ケアマネジメント支援会議の運営協力

8 感染症や災害時に対する対策への取り組み

利用者・職員、事業所での手洗いや消毒等を徹底し、感染予防に努めた。また、業務継続計画の作成に向けて研修等に参加し、計画の作成に取りかかった。

訪問介護事業

1 事業所としての質の向上

定期的な会議は行うことができたが、研修会についてはコロナ禍で計画通りに実施できないものもあった。しかし、職員間の連携を図るため、情報共有をできるかぎり密に行うよう努め、介護の専門的な目線を確保することにより、より良いサービスに繋がった。

2 訪問介護の専門性の向上

利用者が何を求めているのか的確に把握し、ターミナルケアに努めることができた。
また、アセスメントに力を入れた結果、個別性を尊重し、専門的な視点で計画を立て、確かな知識と根拠に基づく技術の提供を行うことができた。

3 関係機関との連携強化

多職種協働で介護サービスをより良いものとし、利用者の日常生活行為や社会関係の回復・拡大、医療的ケア、心理的な支援、介護の相談・指導、地域へのアプローチを行うために、MCSの活用をするなどして、情報共有・交換を行った。

4 安定した事業運営（経営）への創意工夫

ICT化への取り組みに向け、研修会に参加するなどして情報収集に努めた。

5 福祉有償運送事業

	登録者数	延べ件数
身体障害者	9名	220件
要介護認定者	33名	688件
要支援認定者	2名	11件
精神障害者	2名	0件
知的障害者	1名	40件

<地区別会員数>

北勢	17名
員弁	9名

大安	16名
藤原	5名

6 介護保険訪問介護

(介護)	契約者数	80名	延べ件数	7,459件
(総合事業)	契約者数	5名	延べ件数	483件

7 感染症や災害時に対する対策への取り組み

利用者・職員、事業所での手洗いや消毒等を徹底し、感染予防に努めた。また、業務継続計画の作成に向けて研修等に参加し、計画の作成に取りかかった。

通所介護事業

1 通所介護事業所としての質の向上

コロナ禍により、会議や研修が計画通りに実施できないものもあった。しかし、職員間での情報共有をできるかぎり密に行うよう努め、多職種で利用者一人ひとりを支えていけるよう連携を図り、より良いサービスに繋げた。

2 関係機関との連携強化

コロナ禍の影響で関係機関との会議や研修など、直接顔を合わせる機会が減ったが、電話やメール、ICT等を使用して必要な連携や情報共有が弱体化しないよう努めた。

3 健全な事業運営への創意工夫

経営改善を図るため、令和4年4月より地域密着型通所介護事業所へ移行予定。

4 ふじわらデイサービスセンター事業別利用実績

事業	定員	契約者数	介護度別	延べ利用者数	
介護	34名	45名	要介護1	15名	5,463名
			要介護2	13名	
			要介護3	7名	
			要介護4	7名	
			要介護5	3名	
総合	34名	2名	要支援1	1名	276名
			要支援2	1名	

5 デイボランティア等活動

延べ活動者数 8名

6 感染症や災害時に対する対策への取り組み

利用者・職員、事業所での手洗いや消毒等を徹底し、感染予防に努めた。また、業務継続計画の作成に向けて研修等に参加し、計画の作成に取りかかった。

◎障がい者福祉サービス事業部門

障害者相談支援事業

1 障害者相談支援事業（いなべ市委託事業）

- (1) いなべ市より、障がい児・者の総合相談事業を受託し、福祉サービス利用援助、情報の提供等必要な支援を総合的に行った。
- (2) 困難ケースに対応するため、必要に応じて、保健・医療・福祉・教育・就労等、関係機関と連携して支援を行った。

相談支援を利用している方の実件数 1 6 9 件

相談支援を提供した延べ件数 2, 3 7 6 件

2 障がいプラン作成業務

障害者総合支援法に基づく計画相談支援事業を実施した。

- (1) 日々の業務や定例会のなかでケースの情報共有を行いながら、支援について検討し、サービス等利用計画の作成を行った。
- (2) 障がいに関する研修を中心にしながら、支援に関連してくる、生活困窮や障害者雇用、失業給付などのテーマも取り入れ、相談支援事業所のスキルアップを図った。
- (3) ケース支援を行うなかで、課題点が出てきたことに関して、いなべ市自立支援協議会相談支援部会などで関係機関に協議してもらい、いなべ市全体の課題として捉えてもらうようにした。

計画相談支援 年間請求件数 5 4 7 件

障害児相談支援 年間請求件数 1 3 3 件

訪問介護事業

1 居宅介護	契約者数	3 4 名	延べ件数	4, 3 6 1 件
2 同行援護	契約者数	1 0 名	延べ件数	4 2 2 件
3 障害者移動支援事業（いなべ市委託事業）	契約者数	2 2 名	延べ件数	8 2 件

日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

ふじわらデイ 契約者数 1 名 延べ利用者数 6 9 名

オレンジ工房あげき

1 利用者への充実した支援提供

- (1) 利用者の得意作業、苦手作業を把握し、得意作業ばかりではなく、苦手作業についても、利用者が取り組めるように声掛けや環境整備を行った。
- (2) 就労継続支援B型利用者に対して、能力向上のための支援を行った。
- (3) 生活介護利用者については、作業活動のみの提供ではなく、散歩やショート棟での個別活動など、楽しめる活動を提供した。
- (4) 生活介護利用者で希望する方については、歩行訓練や関節可動域訓練などの運動を提

供した。また、散歩に行くことで、運動の機会を提供した。

- (5) 毎月1回定期的に利用していただいている重度障がいの方が2名、軽度障がいの方が2名で、昨年より利用者は増加傾向となった。また、家族の入院のため、緊急で短期入所の希望があった方に対しても対応した。

2 事業所としての質の向上

- (1) 個別支援の必要な利用者に対しては、責任ある態度で支援に努めることはできたが、支援員として気付きや観察力を高めるまでは至らなかった。
- (2) コミュニケーション技術や相談技術の向上に至る研修も取り組むことができなかった。
- (3) 課内での報告・連絡・相談を密にするため、毎日業務終了後、ミーティングを行うことで、利用者の状況等の把握を行い、チームとして支援していく方向性を検討した。

3 利用者の作業と工賃の充実

- (1) 多くの利用者が作業することができる下請け作業については、工場の停止等で作業がない日もあった。
- (2) 新しい作業内容の開拓にまで至らなかったが、下請け作業については、企業側に下請け数増加について依頼した。
- (3) オレンジ工房あげき工賃支給要綱に基づき、適切な支給を行った。
- (4) コロナ禍のため、企業からの下請け作業が減ったため、工賃の向上までは至らなかったが、例年並みの工賃を支給した。

4 関係機関との連携強化

- (1) 利用者ニーズの把握にまでは至らなかったが、関係機関との会議には積極的に参加した。
- (2) 相談支援事業所との連携を行い、オレンジ工房あげき利用者のニーズ把握に努めた。
- (3) 大安地区民生委員児童委員障がい者部会の施設見学、北勢中学校1年生分散学習の受け入れを行った。

5 安定した運営（経営）の見直しと選んでもらえる事業所になるための工夫

- (1) 事業所として、利用者ニーズに応え、また、収益を上げるために、令和3年度はゴールデンウイークの開所も行った。
- (2) 特別支援学校生を1名受け入れた。さらに1名受け入れる予定であったが、コロナ禍で延期となった。
- (3) 利用者の特性に応じたグループ分けをしたことで、実習生からグループ活動の希望があった。

6 感染症対策を徹底した事業所運営

- (1) 毎日の業務終了後、施設内の机、椅子、手すり等の消毒を徹底した。
- (2) 利用者は通所時の検温、手洗い、手指消毒、休憩時の手洗い、手指消毒を行った。職員は、県の無料PCR検査を活用し、2週間に1回程度PCR検査を行った。
- (3) 感染対策マニュアルの作成まで至らなかった。
- (4) 令和3年9月、令和4年1月に利用者からコロナウイルス陽性者が発生したが、濃厚接触者のPCR検査等を行い、共に2日間程度の休業で、再開することができた。しかし、事業継続計画の作成までは至らなかった。
- (5) 感染対策マニュアルおよび事業継続計画の作成まで至っていないため、必要な物品が配備できていない。

7 障がい者グループホーム事業開設に向けた調査および検討

(1) 利用者および家族にアンケートを実施し、以下の回答を得た。

- ・入居を希望する方 17名
- ・入居希望時期について
 - 完成後すぐ 5名
 - 完成後1年～2年後 1名
 - 親などが介助できなくなったら 11名

(2) 理事会・評議員会への報告まで至らなかった。令和4年度より、グループホームの実現に向け、試算も含め、検討していく。

8 延長利用サービス（独自事業）

- 5月 1名
- 9月 1名
- 12月 3名
- 2月 1名

9 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

令和3年度においては利用者なし。

10 障がい者日常生活訓練事業（LUTE事業）

（いなべ市委託事業）

訓練対象者 前期2名 後期2名

延べ訓練回数 124日

訓練内容（回数） 調理（118回）、掃除（21回）、洗濯、洗濯たたみ（26回）
買い物（31回）、その他（2回）

指導員情報交換会 12回

11 利用者数（実績）

就労継続支援B型

利用者数 24名

延べ利用者数 4,782名

生活介護

利用者数 26名

延べ利用者数 5,026名

短期入所

延べ利用者数 40名

◎保育事業部門

1 入所園児数

保育園名	定員	入所園児数 [令和4年3月末現在]						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
石樽保育園	140名	6名	11名	15名	32名	36名	25名	125名
三里保育園	90名	—	—	11名	20名	29名	38名	98名
丹生川保育園	50名	2名	4名	5名	11名	13名	8名	43名

保育園名	定員	入所園児数 [令和4年3月末現在]						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
山郷保育園	120名	3名	9名	13名	39名	46名	35名	145名
員弁西保育園	200名	6名	12名	18名	36名	45名	55名	172名

2 保育園の主な行事

令和3年度は、前年度に続き、感染予防対策を意識した行事の継続。

人の出入りは最小限に、最小単位での活動で、子どもたちが主体的になれる行事の実施

○8月27日～9月18日までを登園自粛の依頼期間

○生活の中で節目となる行事 入園式（4月）、卒園式（3月）

○季節を感じ、伝統行事の体験 なつまつり（7月）、運動会（10月）

クリスマス会（12月）、節分豆まき（2月）

○園児の仲間づくりを意識した行事

遠足（春・秋）、生活発表会（冬）

野外活動のなかでの経験

竹林の散策・タケノコ掘り（春）

川へ出向いて、水遊び・魚とり（夏）

園児自らおにぎりを作って持参して山遊び（夏～秋）

森林の広場や園庭で、子どもたちが火おこしなど役割分担を決め、焼き芋・味噌汁・おでん・だいこんもち・黒豆ご飯などを作る。（秋～冬）

3 一時預かり事業（いなべ市委託事業）

保護者の病気、家族の看護や介護その他事由により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童の一時的な保育の実施

石樽保育園 利用延べ人数：3名 利用延べ日数：28日

山郷保育園 利用延べ人数：1名 利用延べ日数：10日

員弁西保育園 利用延べ人数：1名 利用延べ日数：1日

4 障がい児保育事業の充実（いなべ市委託事業）

公立保育園に保育士を派遣し、障がい児保育の理解を深めた。

ほくせい保育園：4名 治田保育園：2名 員弁東保育園：3名

笠間保育園：3名 ふじわら保育園：3名

5 子育て支援センター事業（いなべ市委託事業）

新型コロナウイルス感染予防対策を意識した事業の実施

○おでかけGOを活用した屋外で遊べる日の実施

はっぴい ひろば（石樽子育て） 1回 延べ 4組10名参加

※4回中止

遊びの広場（北勢子育て） 4回 延べ23組51名参加

※2回中止

おでかけなかよし（いなべ子育て） 5回 延べ29組60名参加

※4回中止

- 利用対象者（市内に住所を有する親子）、利用時間（1組90分）の制限を設けるなど、安心してセンターを利用してもらえる工夫を行った。
- 午後は1歳おめでとう訪問などの訪問活動を中心にした事業の実施
- 木製などの消毒可能なおもちゃで遊べる環境設定

開所日数と利用者数

区分	石榑子育て支援センター はっぴい・はあと		北勢子育て支援センター すこやかランド		員弁子育て支援センター なかよしひろば	
年間開所日数	241日		242日		240日	
対象	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数
～12ヶ月	76名	28名	273名	44名	209名	46名
0歳児	888名	36名	844名	39名	1,262名	38名
1歳児	373名	11名	1,116名	18名	1,089名	19名
2歳児	635名	0名	775名	4名	869名	5名
3歳児以上	57名	1名	7名	0名	15名	1名
保護者	1,616名	52名	2,394名	72名	2,920名	91名
合計	3,645名	128名	5,409名	177名	6,364名	200名

※～12ヶ月：R3.4.2～R4.4.1生 0歳児：R2.4.2～R3.4.1生

訪問事業（年間実績件数）

	石榑子育て支援センター はっぴい・はあと (訪問件数/対象児数)	北勢子育て支援センター すこやかランド (訪問件数/対象児数)	員弁子育て支援センター なかよしひろば (訪問件数/対象児数)
1歳おめでとう訪問	53件/58名	73件/75名	81件/83名
ブックスタート	4件/52名	16件/83名	10件/77名
ブック・Reスタート	1件/49名	11件/78名	5件/98名

相談事業（年間実績件数）

石榑子育て支援センター はっぴい・はあと	44件（内訳 面接相談：43件、訪問相談：1件）
北勢子育て支援センター すこやかランド	66件（内訳 面接相談：56件、電話相談：1件、訪問相談：9件）
いなべ子育て支援センター なかよしひろば	40件（内訳 面接相談：40件）

◎法人運営部門

1 会務の運営

<理事会>

	開催日	議案内容
第72回	4月22日	第61回評議員会の開催
第73回	6月7日	定款の一部変更、処務規程の一部変更、令和2年度事業報告、令和2年度社会福祉事業および公益事業決算、任期満了に伴う理事および監事選任候補者の推薦、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算、第62回評議員会の開催、任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任、評議員選任候補者の推薦、任期満了に伴う評議員選任候補者の推薦
第74回	6月25日	会長、副会長および常務理事の選任
第75回	11月9日	評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計第2次補正予算、第63回評議員会の開催
第76回	3月4日	定款の一部変更、職員就業規則の一部変更、パートタイム職員就業規則の一部変更、給与規程の一部変更、育児・介護休業等に関する規則の一部変更、事務局規程の一部変更、経理規程の一部変更、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計第3次補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度社会福祉事業会計および公益事業会計予算、令和4年度利益相反契約、令和4年度役員等賠償責任保険契約の更新、第64回評議員会の開催

<評議員会>

	開催日	議案内容
第61回	5月10日	役員を選任
第62回	6月25日	定款の一部変更、令和2年度事業報告、令和2年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算、任期満了に伴う理事および監事の選任
第63回	11月22日	令和3年度社会福祉事業会計および公益事業会計第2次補正予算
第64回	3月18日	定款の一部変更、令和3年度社会福祉事業および公益事業会計第3次補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度社会福祉事業および公益事業会計予算

<評議員選任・解任委員会>

	開催日	議案内容
第9回	6月17日	評議員の選任 4名

2 事業運営の透明化

法人運営の透明性を確保するために、社会福祉法に定める定款、計算書類および事業報告、役員等名簿について、主たる事務所に備え置いた。また、ホームページにも社会福祉法に定める事業計画書等の必要書類を掲載した。

3 財務規律の強化

適正かつ公正な支出管理のために、監事による月例監査を6回、決算監査（令和3年5月13日）を実施した。また、内部監査を4回実施し、監事による監査のみならず、職員による内部監査を実施することにより、健全な財務状況が確保できるよう強化を行った。

4 福祉サービス苦情・要望改善事業

苦情要望件数 10件

福祉サービス苦情・要望改善事業第三者委員会を開催し、助言を求めるとともに再発防止について協議を行った。苦情が発生した際は、迅速かつ丁寧な対応をおこない、利用者の権利擁護、満足度の向上に努めた。

5 職員の資質向上（職員研修事業等）と人材育成

職員研修基本方針に基づき、下記のとおり研修を実施した。新型コロナウイルスの影響で集合研修の大半は中止および延期となった。

研修の内製化については、検討に至らなかった。

<部門別研修>

各部署の業務に沿って必要とされる研修を企画実施し、専門職としてのスキル、技術の向上を目指し実施した。

①地域福祉課

研修テーマ	実施日	参加数
園芸福祉講習	5月20日	7名
災害ボランティアセンター設置運営訓練	8月6日	9名
タイムマネジメント研修	8月27日	11名
事務の効率化に関する研修	10月11日	13名

②地域生活支援課

研修テーマ	実施日	参加数
「福祉総合相談窓口」としての機能強化研修	11月27日	14名
相談支援研修	12月23日	5名

③ケアプランセンター

研修テーマ	実施日	参加数
-------	-----	-----

ケアプランの基本的な書き方と考え方について	12月14日	9名
発達障害の基礎理解	1月31日	4名

④通所介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
食中毒・感染症研修	6月24日	12名
体制変更に伴う職員研修	9月9日	16名
防災訓練（応急手当救命処置）研修	10月21日	13名
医療に関する研修	11月25日	13名
接遇・リスクマネジメント研修	3月24日	13名

⑤訪問介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
2021制度改正について	4月27日	12名
食中毒・感染症研修	5月25日	13名
虐待研修	6月29日	13名
ヘルパー事業所の健康管理	8月17日	6名
介護技術研修	1月25日	10名

⑥障がい支援課

研修テーマ	実施日	参加数
感染症研修	2月25日	7名

⑦こども支援課

研修テーマ	実施日	参加数
読み書き障がいの特性に気づく	5月18日～7月30日	74名
野外保育研修	5月28日	79名
年齢別研修	6月1日、2日	78名
年齢別研修	11月8日	70名
野外保育研修	11月18日	91名

6 各種規程の適正管理

職員就業規則、パートタイム職員就業規則、育児・介護休業等に関する規則において、育児短時間勤務を4歳未満まで取得できるよう変更した。また、育児介護休業法の改正に伴い、育児・介護休業等に関する規則において、休業取得要件である1年間の勤務要件を撤廃した。給与規程には処遇改善加算手当を追加し、その詳細については別に要綱を定めた。新規事業の開始に向けて定款の変更、事務局規程の改正を行った。

7 職員の健康管理・衛生管理事業

安全衛生委員会 2回（6月、3月開催） 安全推進会 14ヶ所 月1回開催
各職場で、安全推進会および職場巡視を毎月実施し労働災害防止に努めた。
車両乗車前の点検の啓発強化の取り組みと車両事故再発防止教育を実施するなど、車両事故削減に努めた。

ストレスチェック制度による、ストレスチェックを実施 246名 受診率98%

ストレスチェック実施後、高ストレス者の産業医・保健師面談を行った。

健康診断受診職員数（8月～12月実施） 251名 受診率100%

健康診断受診結果による健康相談（産業医） 0名

健康診断受診結果による保健指導（保健師） 4名

健康診断受診結果をもとに再検査等の受診を促し、早期治療に繋げることで職員の健康管理を徹底した。

職員健康相談（保健師および産業医）

月1回開催 延べ利用者数 42名

心身の健康維持、回復へと繋ぐことができた。

8 実習生、職場体験等の受入れ

職場体験については、受入れ予定の時期が新型コロナウイルス感染症の警戒期間と重なったため、中止となった。

実習・体験目的	受け入れ先	受け入れ数
社会福祉士相談援助実習	各事業所	1名
保育実習	石樽保育園、三里保育園、山郷保育園、員弁西保育園	7名

9 広報活動の充実

社協だより 発行回数6回（奇数月） 各戸配布

社協事業場のほか、市内商業施設、公共施設にも配置した。11月にはInstagramを開設し、情報発信の拡充を図った。

Facebook 投稿件数 111件

twitter 投稿件数 61件

Instagram 投稿件数 48件

プレスリリース発信件数 9件

10 ネットワーク環境の整備・活用

オンライン会議の導入など、IT環境の整備やグループウェアを活用して事務処理および情報共有の効率化をはかった。

11 連携・協働の場としての役割

市内9社会福祉法人が参加する、いなべ市社会福祉法人連絡会の設立に向けてオンライン形式で準備会を開催した。

いなべ市社会福祉法人連絡会（仮称）設立準備会

	開催日	議案内容
第3回	3月10日	各法人の取り組み状況、いなべ市社会福祉法人連絡会会則（案）、いなべ市社会福祉法人連絡会設立総会議事

1.2 災害対応マニュアルの管理

現環境に合わせ災害時における職員の行動を定めた職員防災対応マニュアルを更新した。

1.3 職員状況

正規職員		その他	
令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
136名	129名	209名	216名